# 導線用中継端子台
# DTP-64A 取扱説明書
## 株式会社コンテック

このたびは､導線用ターミナルパネル DTP-64Aをご購入いただき､誠にありがとうございます。

本製品は､96ピンハーフピッチコネクタを持つ当社製インターフェイスボード/カードの入出力配線を中継するネジ止め式の導線用中継端子台です。

96ピンハーフピッチコネクタと端子台は1対1で対応しており、端子台を介してボードと外部機器との接続を簡単に行うことができます。

注) ボード/カードと本製品との接続には、別売のオプションケーブルが必要です。

## ◆特長

- 外部機器からの信号線は端子台にネジ止めするだけで接続可能
- ボード/カードとの接続は、別売のオプションケーブルによって簡単に接続可能

## ◆構成品リスト

本製品は次のような構成になっています｡構成品がすべて揃っていることを確認してください。万一、構成品が足りない場合や破損している場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- 本体…1
- 取扱説明書(本書)…1
- 登録カード＆保証書…1
- シリアルナンバーラベル…1

**⚠ 注意**

オプションケーブルは、ボード/カードおよび本製品には添付されていません。使用するボード/カードの説明書またはホームページで確認いただき適切なケーブルをご購入ください。

## ◆外観および寸法

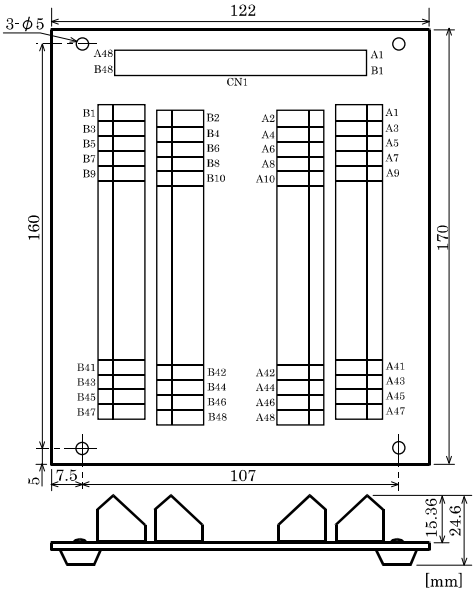



**図1　外観および寸法**

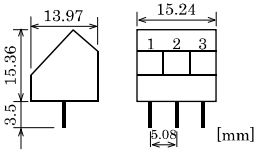



**図2　端子台の外観および寸法**

## ◆接続方法

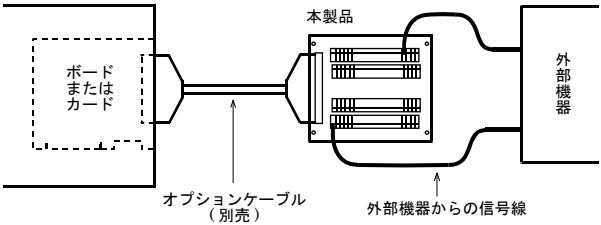
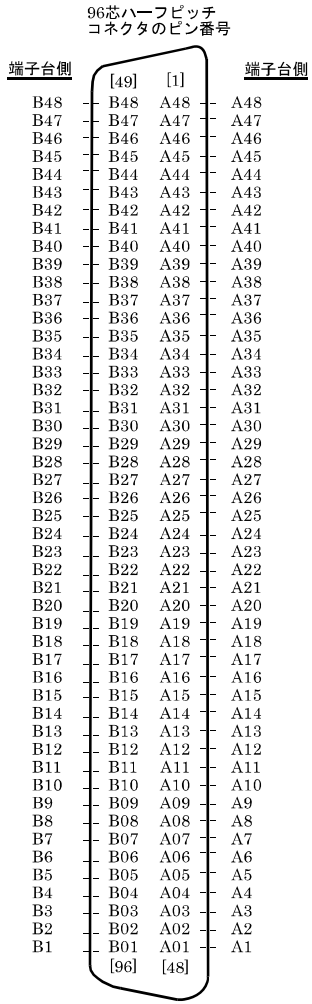



**図3　接続方法**

(1) ボード/カードと本製品は、オプションケーブルで接続します。

(2) 本製品の接続先を確認し、外部機器からの信号線を結線してください。
接続部はネジ止めになっているため、簡単に取り付けられます。

## ◆信号配置図




[ ]内は本多通信工業(株)指定の
端子番号です。

**図4 信号配置図**

## ◆仕様

**表1 仕様**

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 端子台部 | | |
| | 使用端子台 | JTB611-00-2-03-3 [JITE製] |
| | 端子台極数 | 96ピン |
| | 線むき長さ(mm) | 6 |
| | 使用ネジ | M3 |
| | 接続可能電線($mm^2$) | 最大接続範囲 : 0.13 - 1.5<br>単線 : 0.5 - 1.5<br>より線 : 0.5 - 1.5 |
| | 定格絶縁電圧 | 60V |
| | 定格通電電流 | 1A |
| コネクタ部 | | |
| | 使用コネクタ | PCR-E96MD+相当品 [本多通信工業製] |
| | 適合コネクタ例 | PCR-E96FA相当品 [本多通信工業製] |
| 外形寸法(mm) | | 170(W)×122(H) |

## ◆DTP-64(PC)との相違点

本製品は、従来品のDTP-64(PC)の後継製品です。したがって、基本的には同じ使い方ができます。仕様において以下の相違点があります。

| | DTP-64A | DTP-64(PC) |
|---|---|---|
| 使用端子台 | JTB611-00-2-03-3<br>[JITE製]相当品 | MK8/4<br>[日本ワイドミュラー製]相当品 |
| 使用ネジ | M3 | M2.5 |
| 端子台の色 | 緑 | オレンジ |
| ゴム足の高さ | 7.2mm | 5.0mm |

## ◆注意

(1) 本書の内容の全部、または一部を無断で転載することは禁止されています。

(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店へご連絡ください。

(4) 本商品の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、前項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

(5) 本書中に使用している会社名および商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

(6) 本製品に異物(金属片、可燃物、液体等)が接触しないようにしてください。
誤動作、発熱、故障の原因になります。

発行　株式会社コンテック　　2013年2月改訂
大阪市西淀川区姫里3-9-31　〒555-0025
日本語　http://www.contec.co.jp/
英語　http://www.contec.com/　　NA00599 (LYLG123)
中国語　http://www.contec.com.cn/　　02152013_rev3 [03012010]
本製品および本書は著作権法によって保護されていますので無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。